

レタス（平坦地秋まき）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
作型	Be ○—◎ Bs //////// ○ —◎ ////////											
主な作業	被覆終了 播種開始 定植開始 播種終了 定植終了 被覆開始											

技術体系

（家族労働力2人の場合）

1 作型の特徴

この作型では、気温が生育適温から低温期に移っていくので、それぞれの気象条件にあわせた品種を選定し、施肥量を加減していくことが必要となる。

2 適応地域

平坦地域

3 栽培条件

（1）温度

適温 15～20℃

（2）光

比較的光飽和点は低い、日照時間は長い方が適する。

（3）土壌条件

最適PH6.6～7.2

有機物に富み、排水の良い圃場を選ぶ。

4 施設装備

（1）単棟ハウス（育苗用）

2a／本圃200a

5 経営目標

（1）収量 3.5t／10a

（2）投下労働時間 140時間／10a

（3）所得率 45%

（4）経営規模 1.5ha

栽培技術

1 品質向上を図るため作期に応じた品種を導入する。

播種期	定植期	収穫期	品種名
9/1～9/20	9/25～10/14	11/中～12/中	マイヤー、サウサー
9/15～9/30	10/9～10/24	12/上～1/上	JT31
9/25～10/10	10/19～11/4	1/上～1/下	シルル
10/5～10/20	10/30～11/14	1/下～3/下	JT29
10/10～11/5	11/4～11/30	2/上～3/上	冬スコラウンド

2 育苗

（1）床土

プラグ専用培土（N:150mg/l）を利用する。

（2）播種量：コート種子1.5ビシ 7,500粒

（ハダカ種子の場合 40ml/10a）

（3）催芽処理（25℃以上の時）

①水浸（4時間）

②冷蔵処理（8℃ 48時間）

(4) 播種

高温期は発芽率を高めるため夕方播種する。

セルトレイの場合は、200 穴で 35 枚必要である。

(5) 育苗床

健苗育成のためベンチ育苗を行う。

(6) 温度管理

発芽適温：15～23℃

生育適温：15～20℃

(7) 水管理

発芽までは乾かさないように管理する。

発芽後は乾燥、過湿にならないよう十分気をつける。

(8) その他

病虫害予防のために防虫ネットを張り、防除を行う。

定植時に害虫防除のため粒剤を苗処理する。

本葉3枚時に深植えにならないよう定植する。

定植後は灌水を行い活着を促す。

5 定植後管理

(1) 病虫害防除

特に結球始めまでの防除を徹底する。

害虫、細菌病、菌核病、灰色かび病の防除を徹底する。

(2) 被 覆

平均気温が8℃頃（12月中旬頃）からトンネルまたは不織布等べたがけで被覆を行い、玉肥大を促進し、霜害を防ぐなど品質を上げる。

トンネル被覆栽培の場合20℃以上にならないよう温度管理を行う。

3 圃場準備

(1) 排水対策

過湿を嫌うので、明きょや暗きょ等を施行し排水の良い圃場条件を整えておく。

(2) 施肥

適正施肥量を耕起後全面施用する。

10a 当たり施肥成分量 (kg)

		チッソ	リン酸	カリ
基 肥	年内どり	18	18	18
	年明どり	26	26	26

苦土石灰により適正酸度にし、堆肥を10a 当たり3t 程度投入する。

(3) マルチング

整地後直ちにマルチを張る。

(4) 定 植

栽植様式 (cm、株)

	畦幅	株間	条間	10a 株数
2条植え	120	30	30	5, 555
3条植え	150	30	30	6, 666
4条植え	185	30	30	7, 267

6 収 穫

八分結球程度で収穫する。（収穫が遅れると老化により品質が低下する。）

7 後整理

病気が出た圃場では特に外葉等の残さはほ場外に必ず運び出す。